

BLESS西巣鴨駐車場配置図

<リアオーバーハングについて>

区画No.2.4.6.13は車止めの位置が他区画より後ろにあります。

No.2:リアオーバーハング**1200mm**を超えるとパレットからはみ出る可能性があります。

No.4.6.13:リアオーバーハング**1250mm**を超えるとパレットからはみ出る可能性があります。

出入口

23

3F	6	5	4	3	2	1
2F	11	10	9	8	7	
1F	16	15	14	13	12	
B1F	22	21	20	19	18	17

1
2
3
4
5

バイク
置場

自転車
置場

駐車場

BLESS西巢鴨機械式駐車場操作説明

◆操作手順

- ①電源キーで電源キースイッチを「入」にします。
- ②呼出パレットNo.を「テンキー」で入力し、「セット」を押して確定します。
- ③装置内外の安全を確認し、「安全確認」ボタンを押します。
- ④「起動」ボタンを押すと装置が動作します。
- ⑤動作完了するとゲートが開き表示灯が停止しますので、車の入庫を行います。

⑥パレットからお車のはみ出しがないか必ず目視で確認を行って下さい。

※後方にははみだし検知センサーが設置されていません。

⑦安全を確認後、「安全確認」→「ゲート閉」の順にボタンを押しゲートを閉めます。

⑧電源キースイッチを「切」にして電源キーを抜き取ります。

※もし装置動作中に危険または異常を感じた場合は、ためらわず「非常停止」ボタンを押して下さい。装置は即停止します。

◆注意事項

※区画No.2.4.6.13をご利用のお客様へ
車止めが他の区画より後ろに位置しております。
特に十分注意して入庫、目視確認を行って下さい。



◆こんなときには!?

表示器に下記エラーコードが表示された場合は、お客様での復旧が可能です。
下記対策を行っても改善されない場合は、メンテナンス会社にご連絡下さい。

エラーコード	原因	対策
7100 7400 (縦列の後列時)	車長制限センサー(装置内)の光軸が遮光した。	光軸を遮光している物を取り除き「安全確認」を押す。
7200	ゲート前センサーの光軸を遮光した。	光軸を遮光している物を取り除き「安全確認」を押す。
7300	操作盤の非常停止ボタンを押した。	安全を確認し非常停止ボタンを右に廻す。その後「安全確認」を押す。

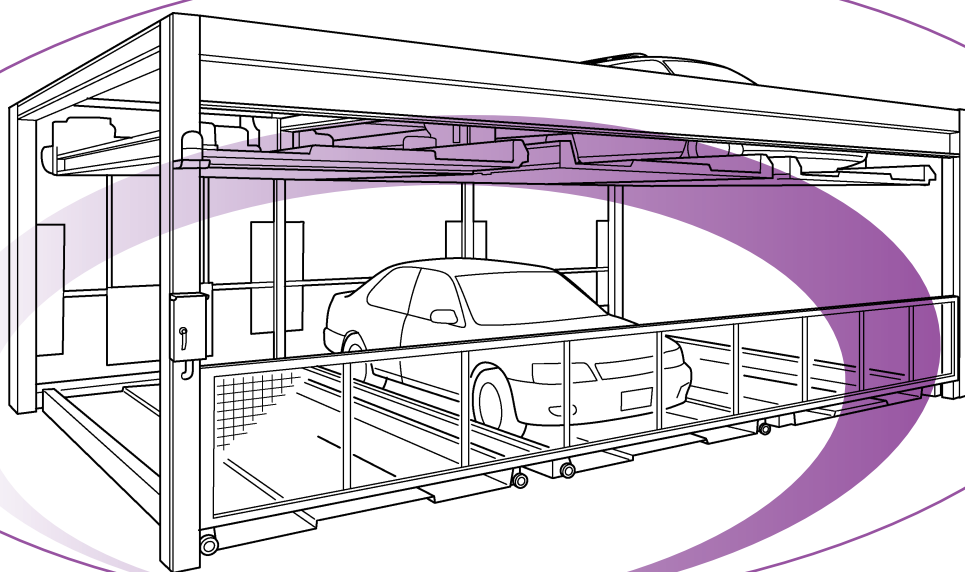
※各対策後、安全確認を行い、再起動して下さい。

◆故障等緊急連絡先

サンコー・コミュニティ株式会社 0120-08-4833

HOKOKU パーキングシステム

立体駐車装置
取扱説明書



はじめに

- この度は、弊社製品をご利用いただき有難うございます。末永く、また安全にご使用いただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なお読みください。
- 本書は以下の型式を対象としています。

単列装置

昇降・横行式	HOPS-A2、HOPS-A3、HOPS-A4、HOPS-A5
昇降・横行ピット式	HOPS-P2、HOPS-P3、HOPS-P4、HOPS-P5、HOPS-PF3、HOPS-PF4、 HOPS-PF5、HOPS-PF6、HOPS-PE3、HOPS-PE4、HOPS-PE5

縦列装置

昇降・横行式	HOPS-A2W、HOPS-A3W、HOPS-A4W、HOPS-A5W
昇降・横行ピット式	HOPS-P2W、HOPS-P3W、HOPS-P4W、HOPS-P5W、HOPS-PF3W、 HOPS-PF4W、HOPS-PF5W、HOPS-PF6W、HOPS-PE3W、HOPS-PE4W、 HOPS-PE5W

お断り

- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容について、不明な点などがありましたら弊社までご連絡ください。ご連絡先は本書の裏表紙に記載されています。
- 万一、本書の説明以外の取扱いをされて、装置の破損や人的損傷にいたっても弊社は責任を負いかねます。
- 地震、強風、激しい雷雨、積雪等自然災害による装置、乗用車への損傷、損害または、故意による装置、乗用車への悪戯については弊社は責任を負いかねます。
- 乗用車の入出庫中に誤って、装置に損傷を与えた場合、修理費用その他を請求させていただく場合があります。

もくじ

1 ご使用上の注意について	1
この章では、立体駐車装置の操作をする場合に守るべき安全事項を説明しています。	
1-1 警告用語の種類と意味	1
1-2 安全のために必ずお守りください.....	1
1-3 操作および入出庫時の注意事項	5
1-4 装置の緊急停止方法	8
2 装置各部の名称と機能	9
この章では、立体駐車装置の各部の名称と機能を説明しています。	
3 操作方法	15
この章では、立体駐車装置をお使いになる場合に必要手順を説明しています。	
3-1 操作盤各部の名称	15
3-2 パレットを呼び出し車を入庫（出庫）させる ..	15
3-3 装置緊急停止後の再起動方法	16
4 こんなときには?!	17
この章では、立体駐車装置ご使用時の不具合対処方法を説明をしています。	
5 メンテナンス	19
この章では、立体駐車装置の保守・点検についての説明をしています。	
5-1 日常点検.....	19
5-2 長期間使用しない場合	19
5-3 部品交換や修理が必要な場合	20
保証について	20

1 ご使用上の注意について

1-1 警告用語の種類と意味

誤った取扱いをしたときに生じる危険な状態を、警告と注意表示に分けて説明しています。

⚠ 警告

- 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な事故に結びつく可能性があるもの

⚠ 注意

- 誤った取扱いをしたときに、傷害または物的損害に結びつく可能性があるもの

また、注意に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。

1-2 安全のために必ずお守りください

安全に関する注意事項

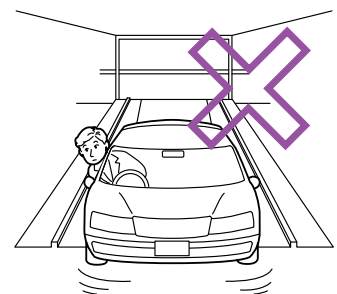
⚠ 警告

- 装置内とその付近は火気厳禁です。
- 誤ってピットに落ちないように注意してください。
- 車の入出庫時、車から手や頭を出さないでください。

手や頭を出していると、支柱にぶつかってケガをする恐れがあり危険です。

- 本装置および付属品の改造を行わないでください。
- 本装置作動中は装置から目を離さず、『非常停止』ボタンをすぐ押せる場所で装置内外の安全を確認してください。
- 本装置作動中は安全ゲートを触らないでください。

安全ゲート開閉時に思わぬケガをする恐れがあり危険です。



安全に関する注意事項

⚠ 警告

- 車止めの移設は車両破損事故に繋がる可能性があるため無断で移設しないでください。
必ず管理者の立会いのもとで移設してください。

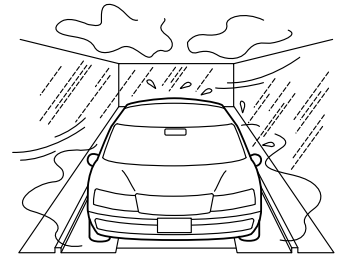
悪天候時の注意事項

⚠ 警告

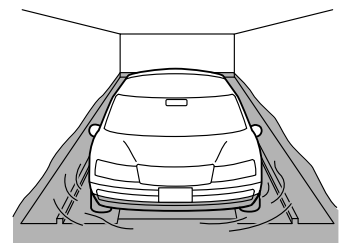
- 地震、強風、激しい雷雨のときは、絶対に使用しないでください。

感電・火災・装置や車両破損の原因になる場合があります。

- 大雨・洪水の際、地下パレットの車が浸水する恐れがある場合はすみやかに管理者に連絡し、指示に従って地下パレットの車を出庫してください。



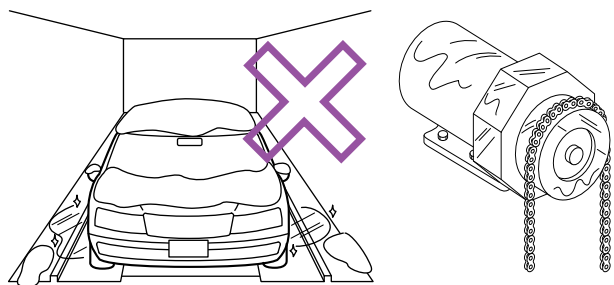
- 万一、ピットが浸水した場合は感電する恐れがありますので、装置を操作したりピット内に入ったりしないでください。



- 積雪時および凍結時は、絶対に使用しないでください。

以下のような異常が想定されます。

- 横行車輪の空回り
- センサー誤動作
- チェーン固着



- 積雪、および凍結の恐れがある場合は、事前にパレットの車を出庫してください。

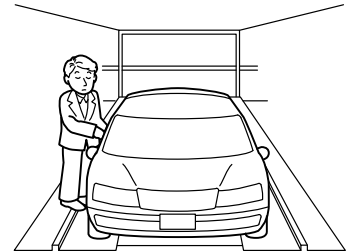
- 地震、冠水、積雪、凍結の後は装置が正しく作動しない場合があるので、点検後、安全を確認した上で使用してください。

操作前の注意事項

⚠ 警告

- 操作前には、必ず装置内外の安全を確認してください。
- 操作する前に、装置内に人がいないことを必ず確認してください。
- 装置内に人がいる場合は絶対に操作しないでください。

人がいる時に装置を動かすと、死亡事故の恐れがあり危険です。



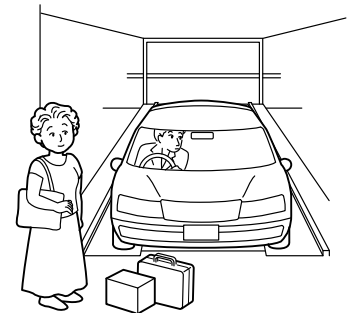
- 装置動作中に危険または異常を感じたら、直ちに『非常停止』ボタンを押してください。装置は即停止します。
- 本書に記載している操作方法以外を行わないでください。
- 濡れた手でボタン等を触らないでください。
- 車の入出庫時や装置が停止している時は操作盤の扉を閉めてハンドルで確実にロックしてください。車および装置を破損させる原因となります。雨天時など操作盤内に水等が入り込まないように配慮してください。

操作上の注意事

⚠ 注意

- 装置内への出入りは運転者だけで行ってください。同乗者の方の乗降や荷物の積み下ろしは装置の外で行ってください。

- 装置内へは車の入出庫時以外は立ち入らないでください。



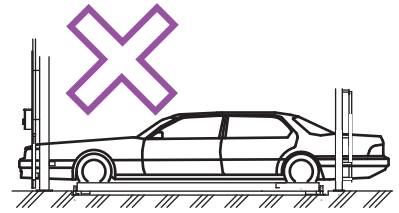
- 収容できる車のサイズが決まっています。収容車のサイズを確認し、正しくご使用ください。

収容車サイズは実寸法ですので、ルーフキャリア付き、特殊バンパー、スペアタイヤ付き、オプション（純正品を含む）、その他改造車の場合、お持ちの車の諸元とは異なる場合があります。使用前に確認してください。特に、RV 車等リアハッチにスペアタイヤが付く車両は、車両収容範囲からはみ出す恐れがありますので、注意してください。

操作上の注意事項

⚠ 注意

- 収容車サイズの範囲内であっても、車種によっては車両収容範囲を超える場合があります。実車にてご確認ください。



- 装置には、前面に車長制限センサーを設置していますが、すべての車のはみ出しに対して検出および制限を保證するものではありません。

その他の注意事項

⚠ 注意

- 装置は構造上チェーンを使用しています。チェーンにはオイルを塗布していますので、触れないようご注意ください。
駐車中の車両にチェーンオイルが付着する可能性があります。付着したオイルは直ぐに拭き取ってください。
- 乗用車以外（オートバイ等）は転倒する恐れがありますので駐車しないでください。
- 本装置を駐車以外の目的（物置等）で使用しないでください。
- 2ヶ月に1回以上の頻度での点検を弊社指定のメンテナンス会社により実施してください。

1-3 操作および入出庫時の注意事項

使用上の注意事項

⚠ 警告

- 装置内は構造上避けられない段差や突起物がありますので、足下および頭上周辺は十分に注意して装置内へお進みください。上段パレット等に接触したり、つまずいて転倒し、ケガをする恐れがあります。



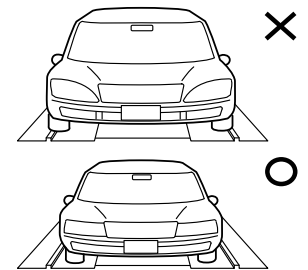
- 装置中程より後ろには、センサー等が設置されており、思わぬケガをしたり装置故障の原因となりますので絶対に立ち入らないでください。
- 装置を途中で止めたままにするとピットに落ち、ケガをする恐れがありますので、完全に操作を終了させてください。

入庫車諸元に関する注意事項

⚠ 注意

- 収納車サイズ、重量を必ず守ってください。

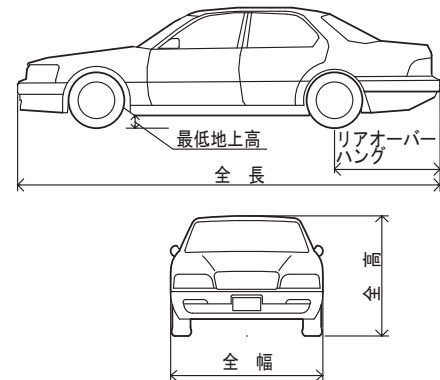
収納車サイズは実寸法ですので、ルーフキャリア付き、特殊バンパー、スペアタイヤ付き、その他改造車の場合、お持ちの車の諸元とは異なる場合があります。使用前に確認してください。特に、RV 車等リアハッチにスペアタイヤが付く車両は、車両収容範囲からはみ出す恐れがありますので、注意してください。



- 同一装置内でも収容車サイズが異なる場合があります。

ご使用パレットの諸元（全長、全幅、全高）をよくお確かめの上、入庫してください。なお、収容可能な最低地上高は **125mm** 以上です。（ただし、リアオーバーハング部は **160mm** 以上必要です。）

お車の買い換え時や、お知り合いの車、代車等の入庫時に収容車サイズ範囲を超えた車を入庫され、破損に至る場合があります。このような場合は特に注意して、ご確認の上ご使用ください。

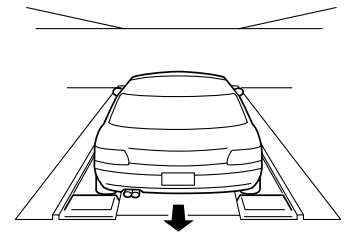


入庫に関する注意事項

⚠ 注意

- 入庫の際には、必ずバックでまっすぐ中央に、後輪が車止めに当たるまで徐行してください。また前進入庫は禁止です。

無理な入庫は、パレットへの衝突に繋がり、車および装置を破損させる原因となります。



- 入庫時には、以下のことを必ず確認してください。

車の後輪が、パレットの車止め位置にあること。
パレット（車両収容範囲）から車がはみ出していないこと。

- パレットの中央部にはタイヤを乗せないでください。
- 入庫前に、アンテナを収納し、車を降りる際は、ドアミラーを折りたたんでください。また、必ずしっかりとサイドブレーキを引いてください。
オートマチック車は P（パーキング）レンジにしてください。ドアは完全に閉めて施錠してください。入庫の際は、ドアミラーが装置に接触する恐れがありますのでご注意ください。

出庫に関する注意事項

⚠ 注意

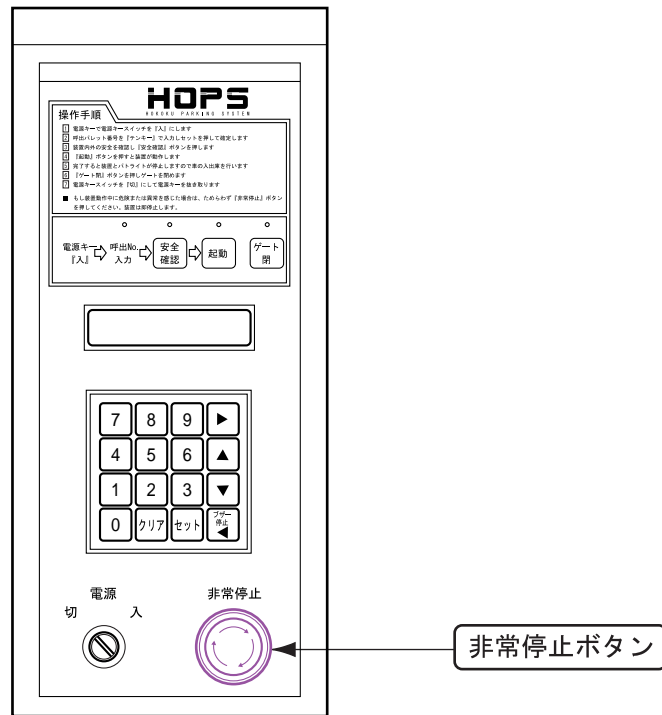
- 出庫の際は、後輪が完全にパレットを出てからハンドルを切ってください。
早くハンドルを切ると装置の故障やタイヤ破損の原因となります。
- 本装置の操作は必ず運転者自身で行ってください。
また、車に乗ったままでの操作は行わないでください。
- 出庫完了後、安全ゲート動作範囲に車が無いことを確認して安全ゲートを閉めてください。車および装置を破損させる原因となります。

使用上の注意事項

⚠ 注意

- 縦列通過パレットへの駐車は、車の破損および装置の故障の原因となりますので、絶対に駐車しないでください。
- ピット内への進入は危険なので絶対に立ち入らないでください。
ピット内へ落し物をした場合は管理者に連絡し、対応を求めてください。
- パレット上にオイル・ガソリン・バッテリー液等が漏れた場合はすぐに拭き取ってください。
バッテリー液その他腐蝕性のある液体は、装置や車を損傷する恐れがあります。
- 車のボディーカバーは風等で外れて装置動作の障害になり、思わぬ事故を招く恐れがありますので使用しないでください。
- タイヤチェーンやスパイクタイヤでの入庫は、パレット面を傷め、キズやサビの原因となりますので行わないでください。
- 落ち葉やゴミ等は、車のスリップや装置の誤作動の原因となりますので速やかに取り除いてください。
- 操作盤のムダ押し操作や必要以上の力で操作すると部品を傷める原因となりますので行わないでください。
また、電源キースイッチの鍵は『入』側では抜けないので、無理に抜かないでください。
『切』側でキースイッチを抜き差しする際は鍵をまっすぐ抜き差ししてください。
- 装置は連続運転の仕様になっていません。よって同一パレットの連続呼び出しはお控えください。
- 装置動作中は操作盤から離れないでください。危険を感じた場合、直ぐに『非常停止』ボタンを押してください。

1-4 装置の緊急停止方法



本装置の『非常停止』ボタンは、操作盤内に設置しています。

⚠ 警告

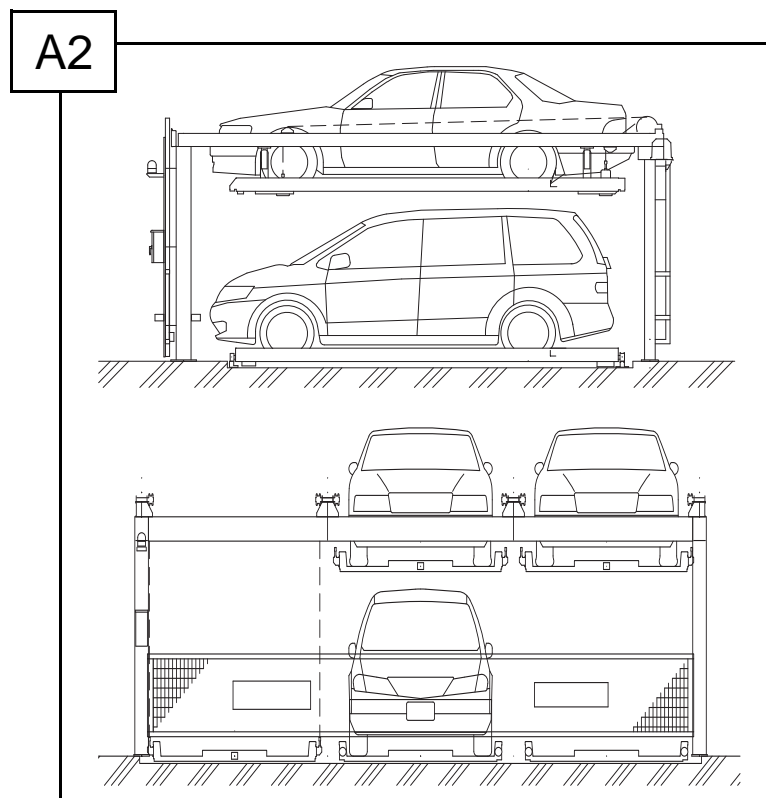
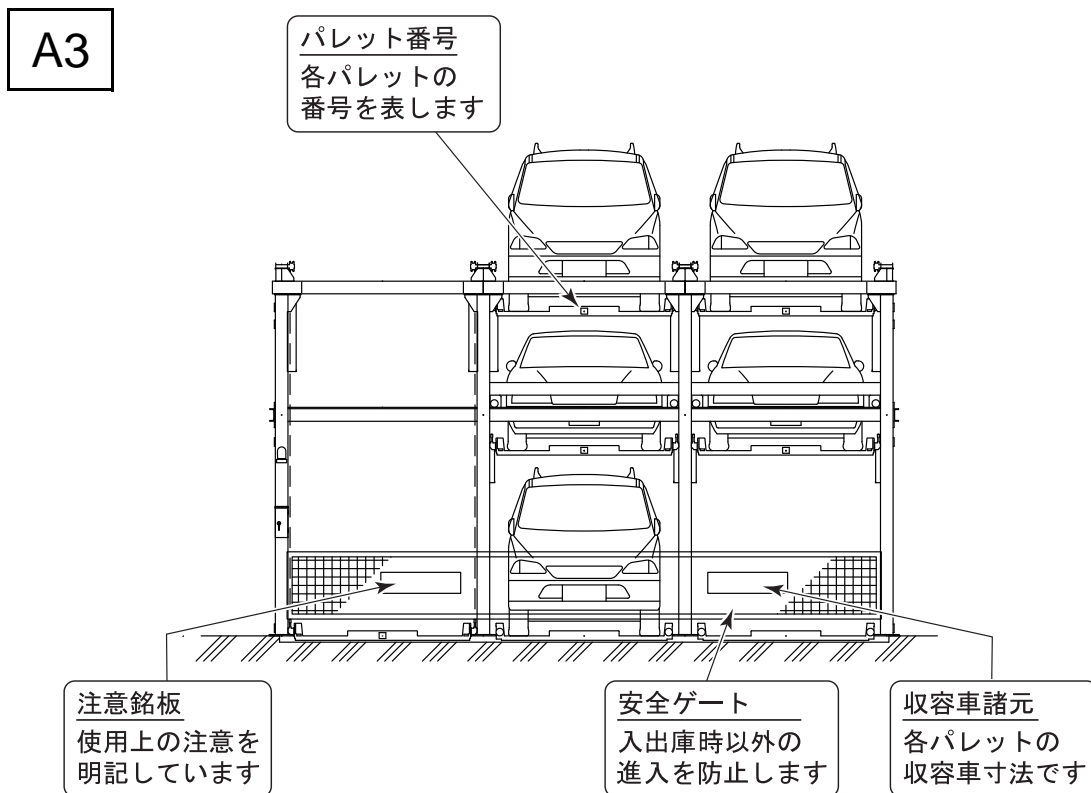
- 装置動作中に危険または異常を感じたら、直ちに『非常停止』ボタンを押してください。装置は即停止します。

『非常停止』ボタンを押すと、ブザーが鳴り『表示部』に「7300」を表示します。再起動方法については、「3-3 装置緊急停止後の再起動方法」をご覧ください。

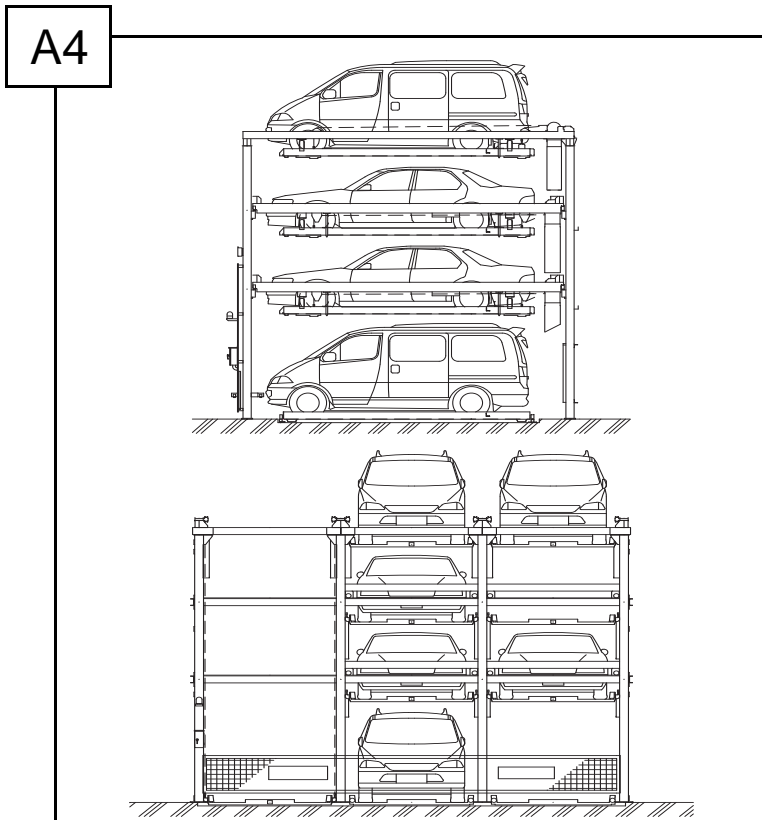
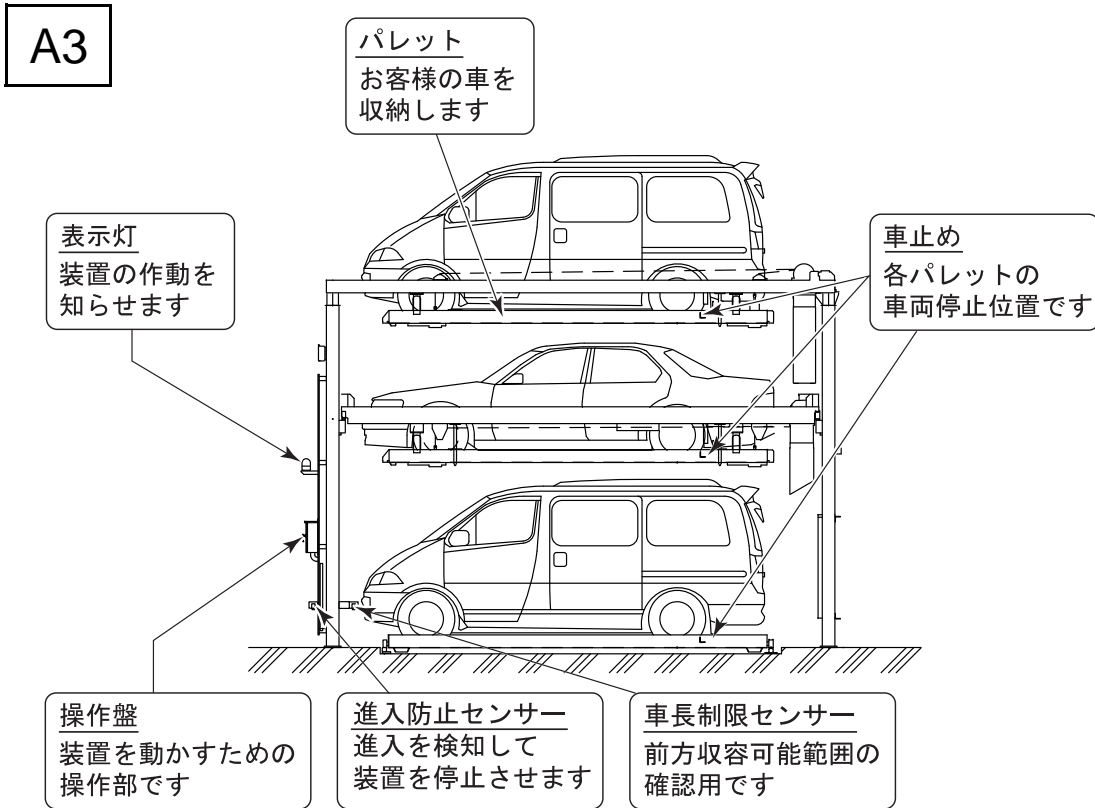
2 装置各部の名称と機能

[型式：A] 正面

図は A3 を示しますが、パレットの数を除いて、各部の名称と機能は同様です。

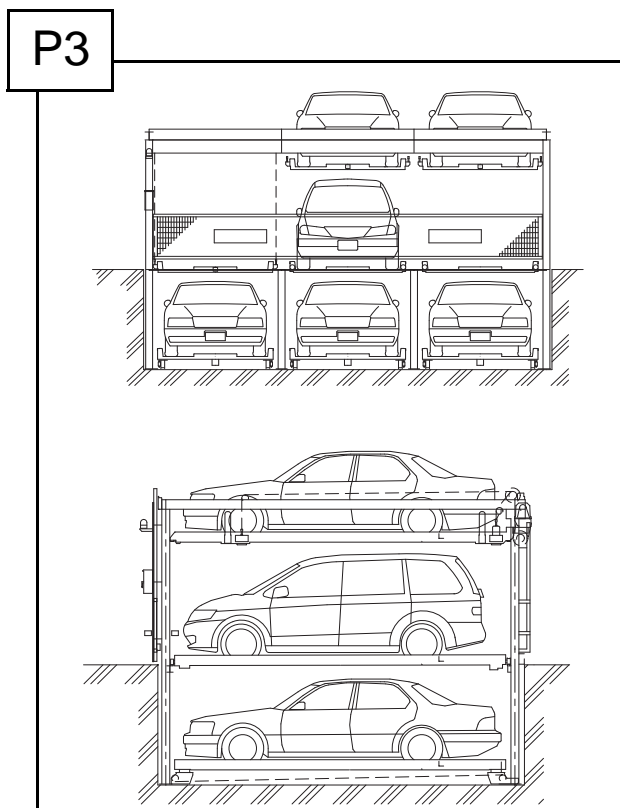
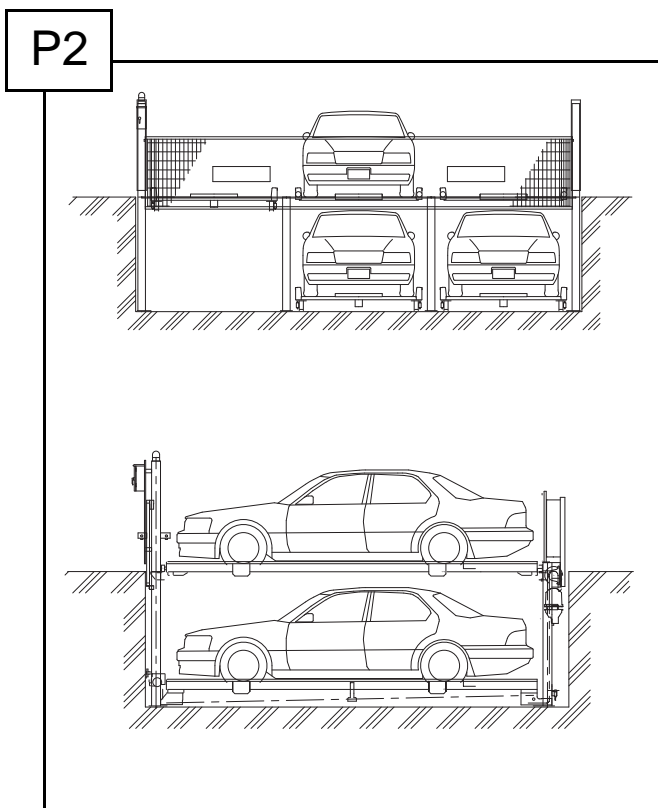
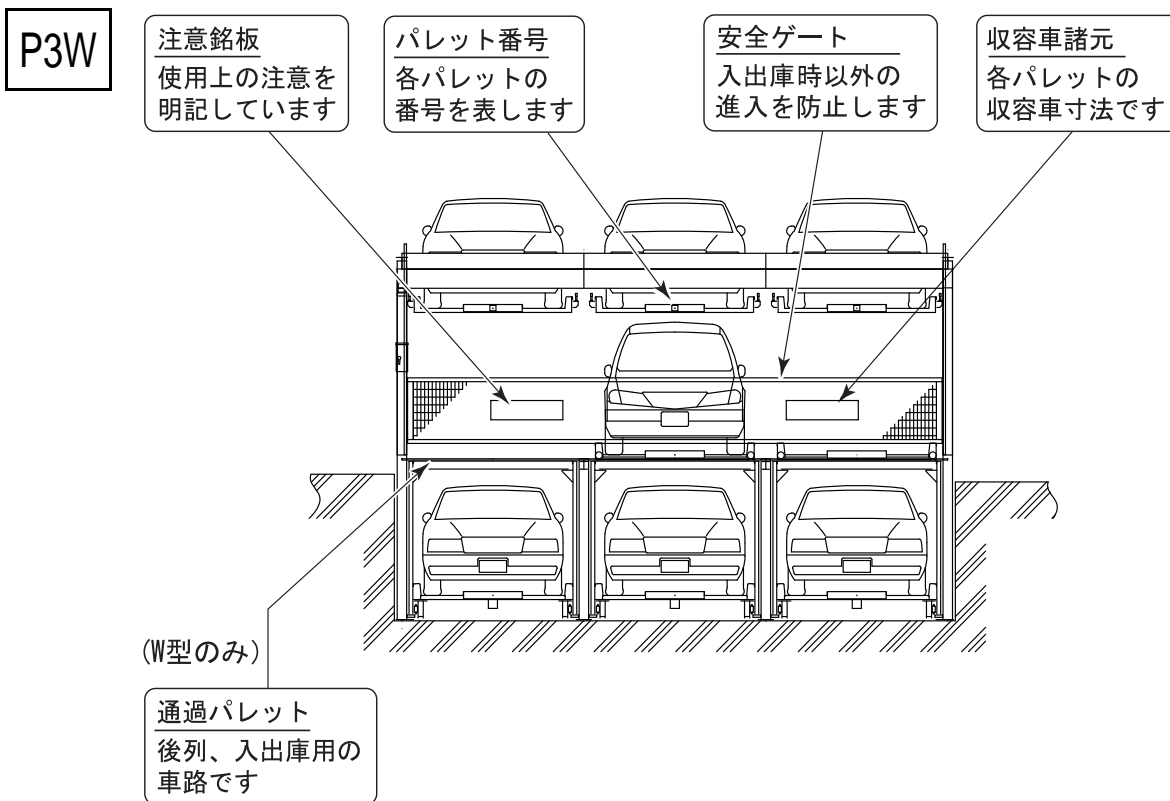


[型式：A] 側面

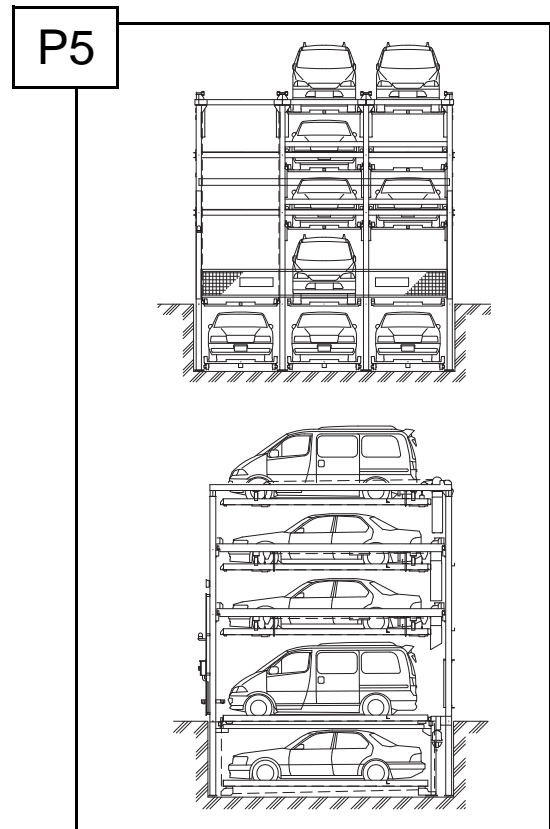
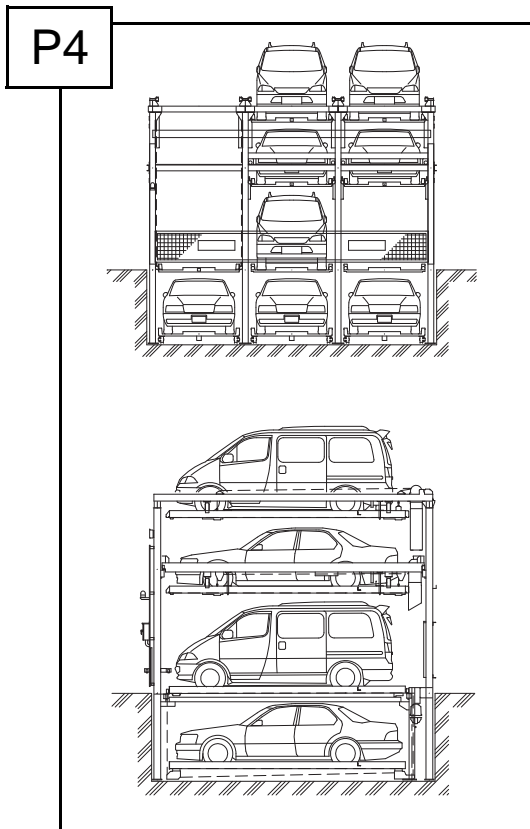
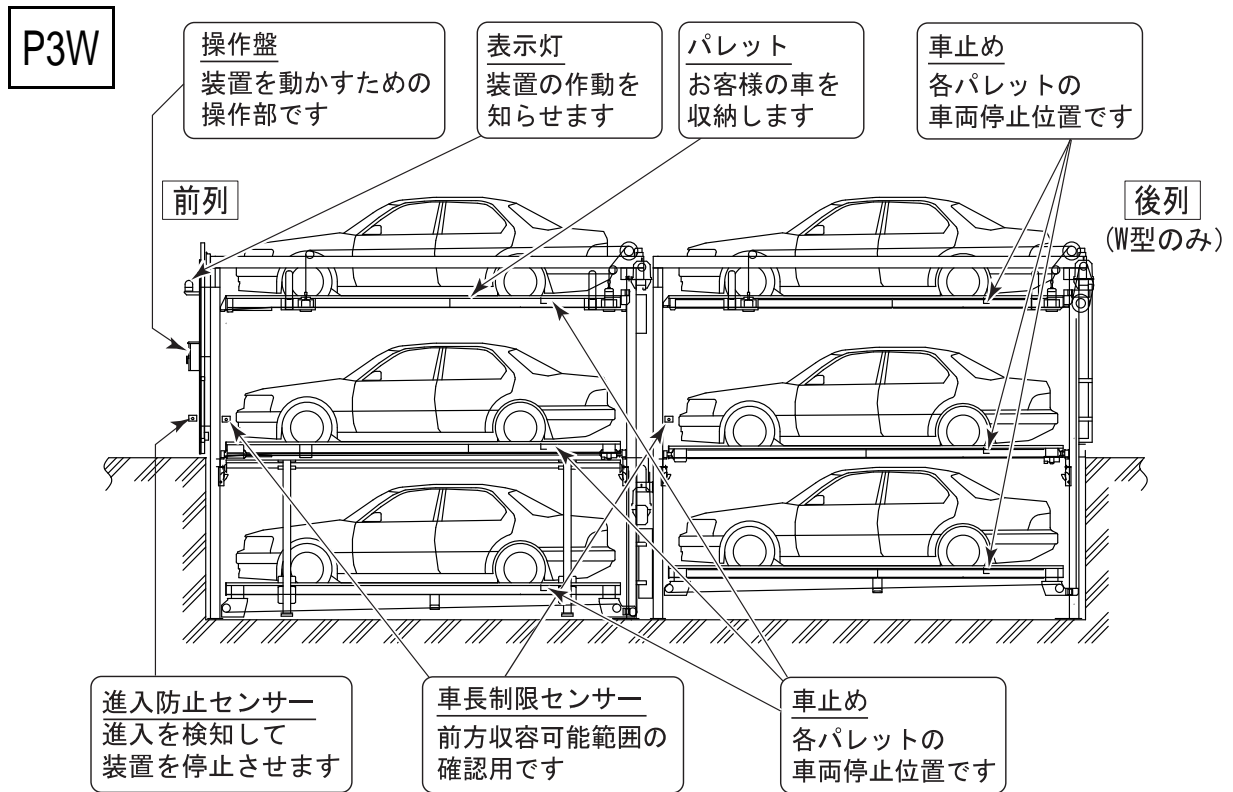


[型式：P] 正面

図は P3W を示しますが、パレットの数を除いて、各部の名称と機能は同様です。

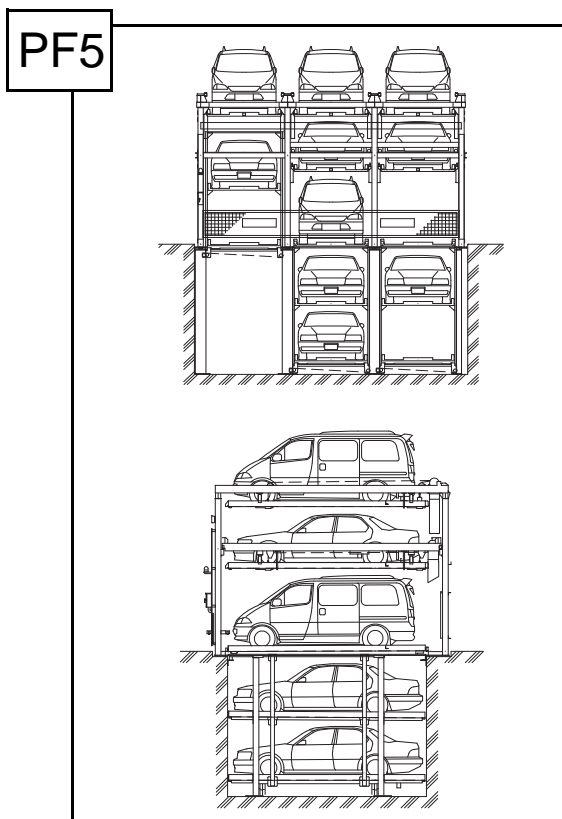
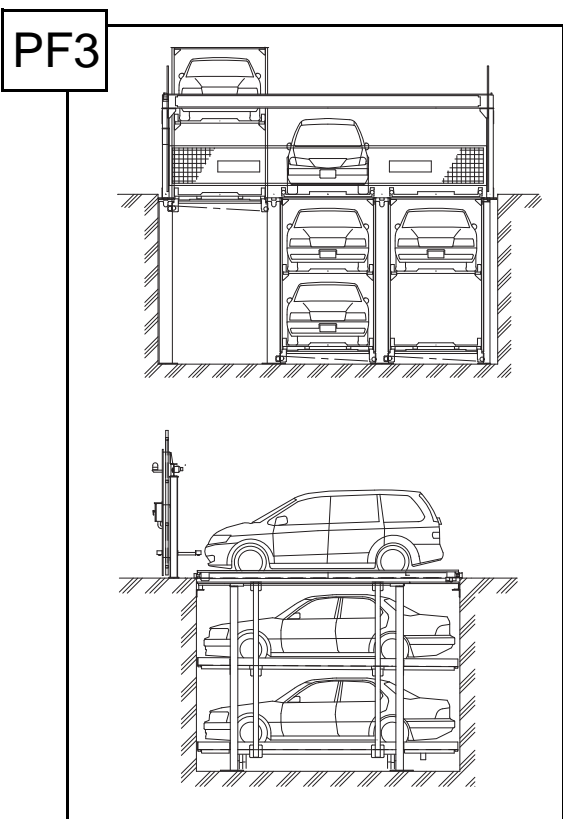
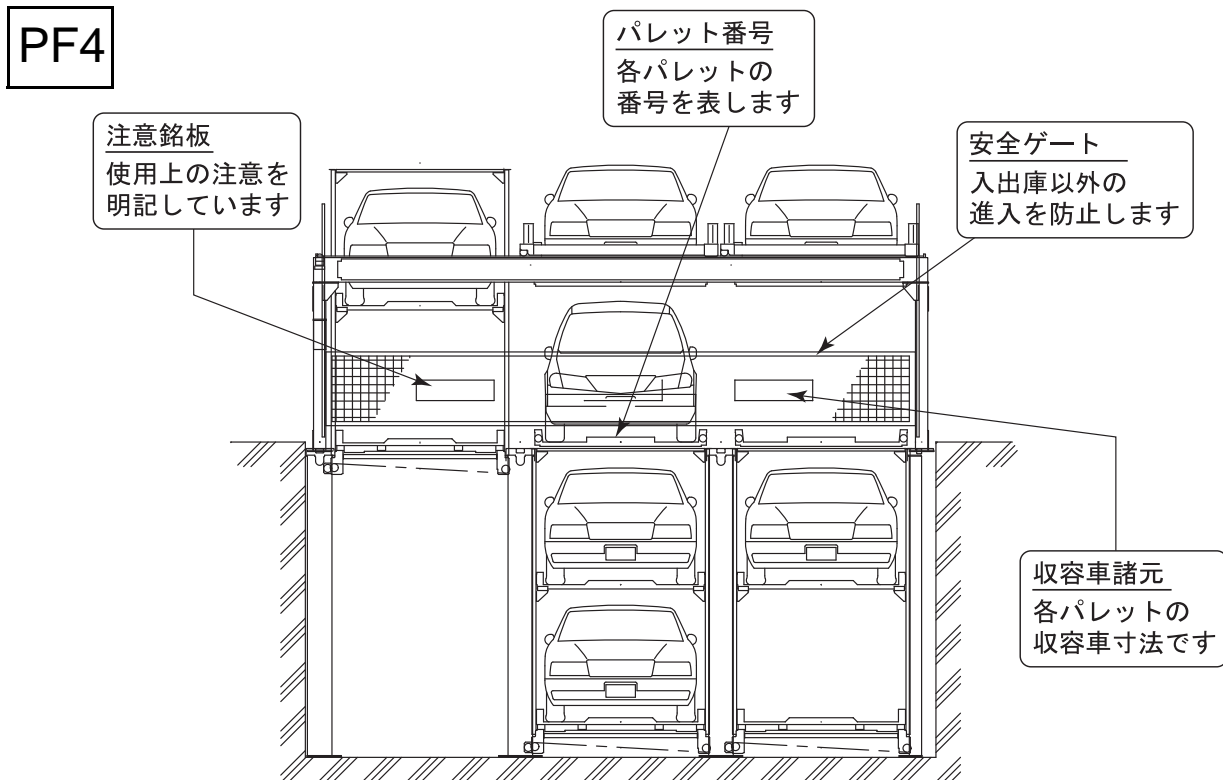


[型式：P] 側面



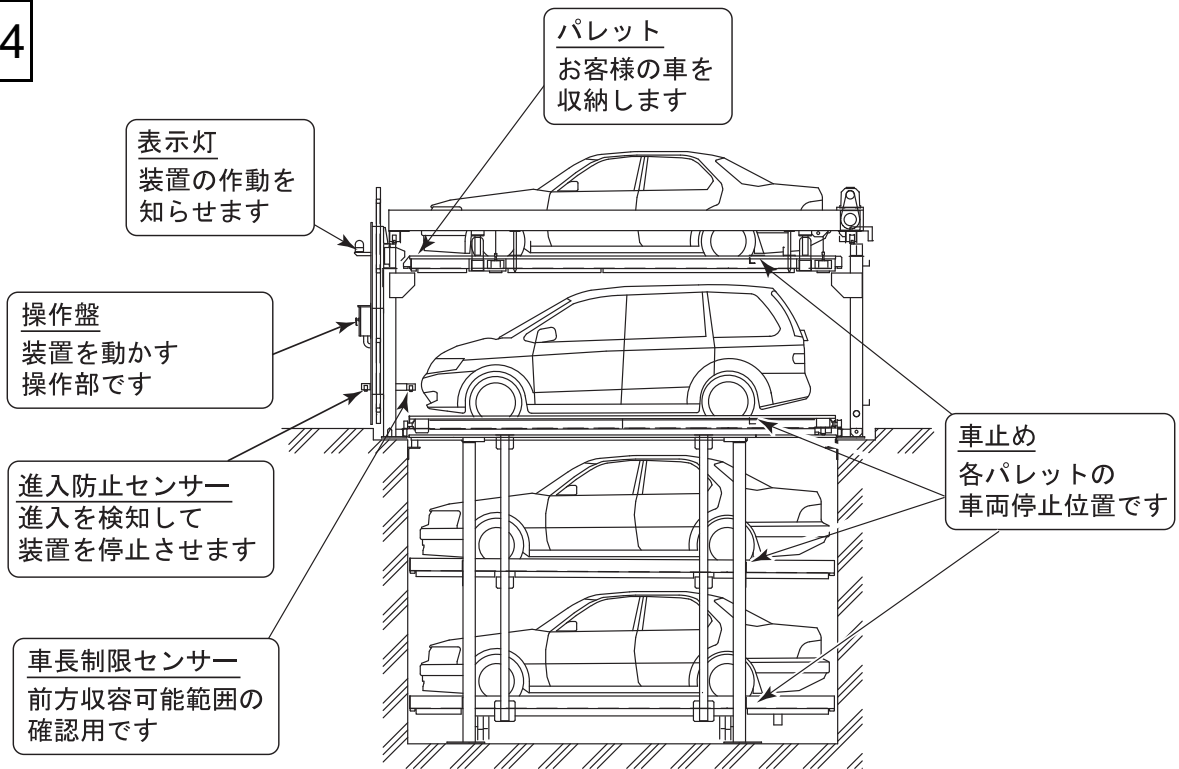
[型式：PF] 正面

図は PF4 を示しますが、パレットの数を除いて、各部の名称と機能は同様です。

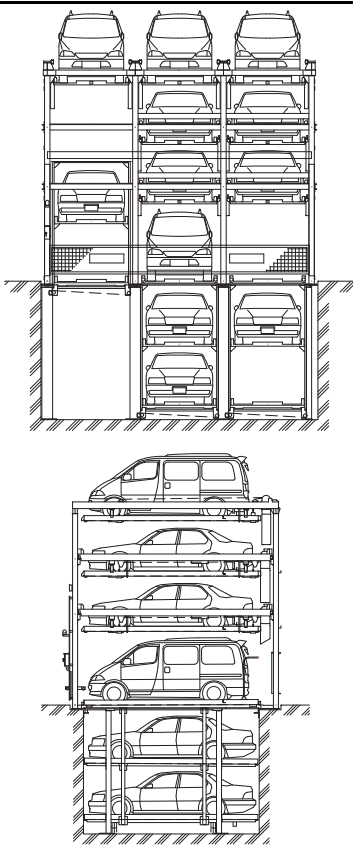


[型式：PF] 側面

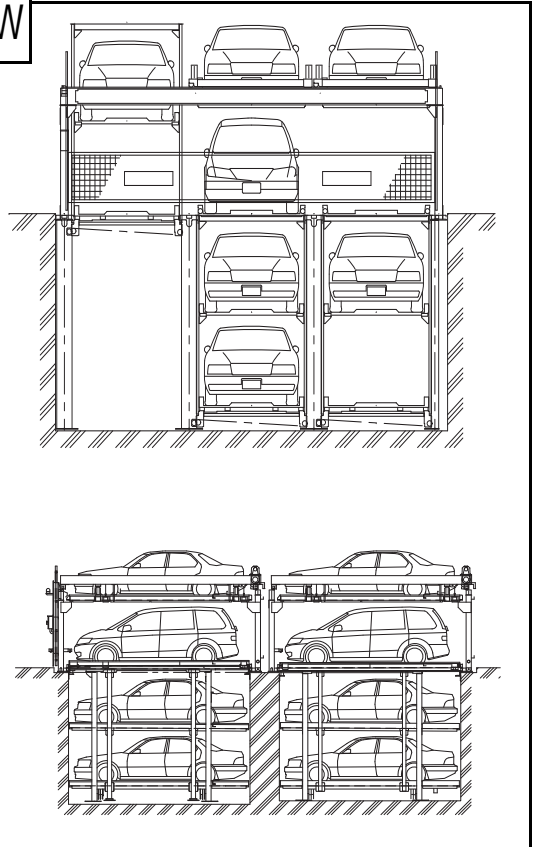
PF4



PF6

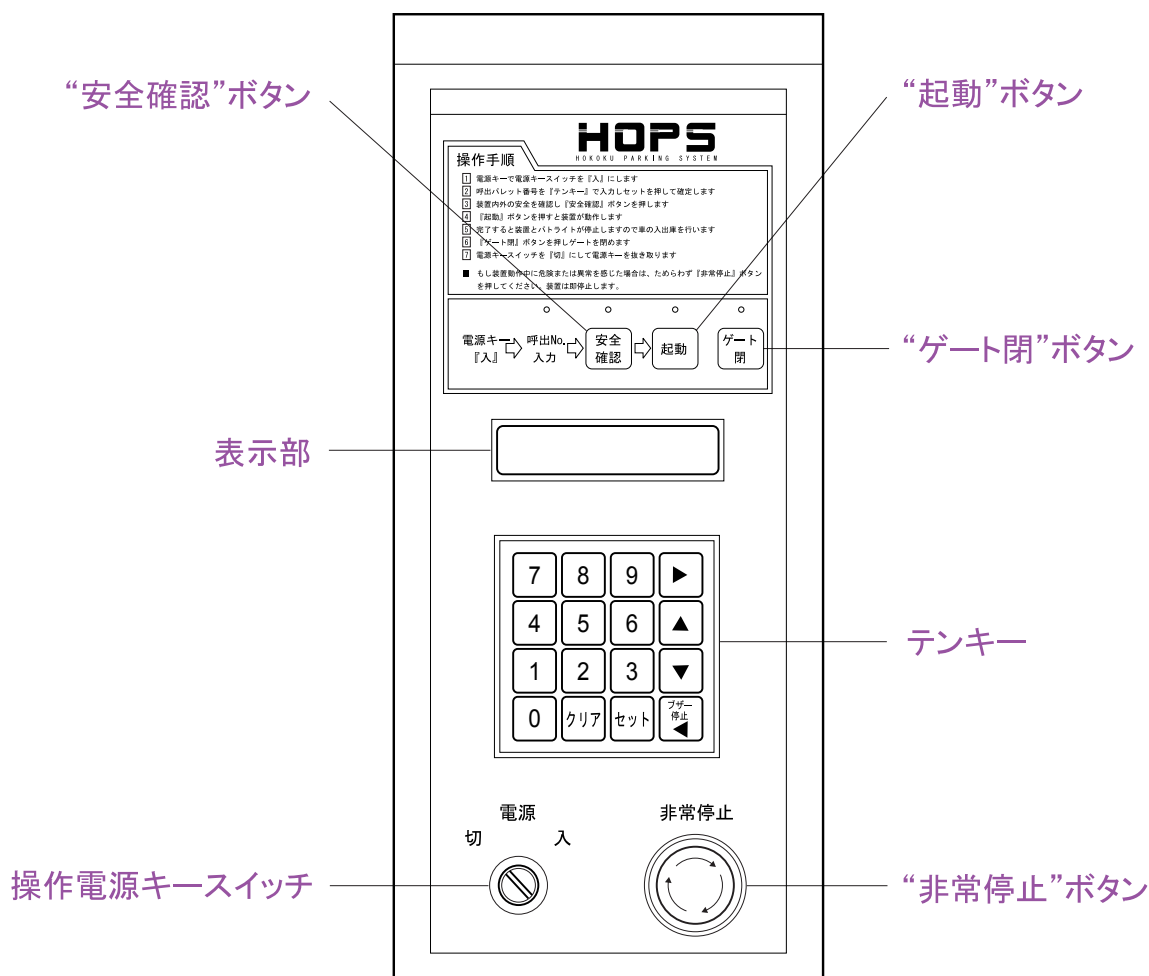


PF4W



3 操作方法

3-1 操作盤各部の名称



3-2 パレットを呼び出し車を入庫（出庫）させる

「1 ご使用上の注意について」を必ず読んで理解した後、操作してください。

1. 操作電源キースイッチに電源キーを差し込み、『入』側にまわします。
2. 呼び出すパレット番号をテンキーで入力します。
入力した番号は表示部に表示されます。
入力を間違えた場合は、“クリア”キーを押して取り消し、再度入力してください。
3. “セット”キーを押します。
パレット番号が確定され、“安全確認”ボタンのランプが点滅します。

4. 装置内と周囲の安全を十分確認し、“安全確認” ボタンを押します。
“起動” ボタンのランプが点滅します。
5. “起動” ボタンを押します。
“起動” ボタンのランプが点灯し、呼び出したパレットが、入出庫位置へ移動します。
6. 安全ゲートが開き、装置が停止したことを確認します。
周囲の安全を十分確認し、車を入庫（出庫）させてください。
7. 装置内外の安全を十分確認し、“安全確認” ボタンを押します。
(安全ゲートの動作軌道上に人あるいは車や荷物等が無いことを確認してください。) “ゲート閉” ボタンのランプが点滅します。
8. “ゲート閉” ボタンを押します。
安全ゲートが閉まり、装置が停止します。
9. 電源キーを『切』側にまわして電源を切ります。
電源キーを操作電源キースイッチから抜き、操作盤の扉を閉めてください。

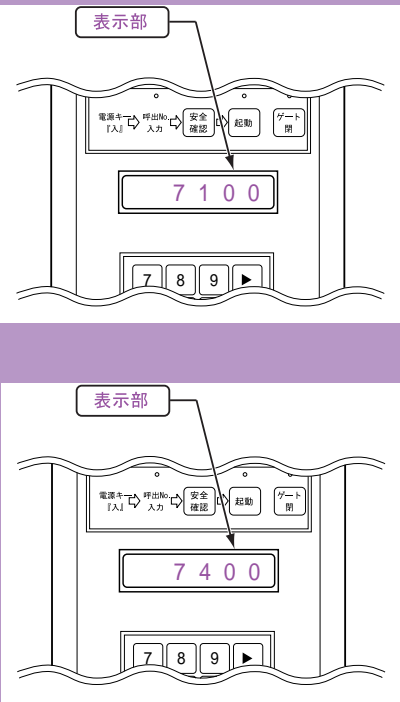
3-3 装置緊急停止後の再起動方法

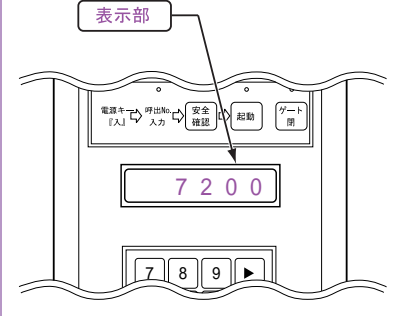
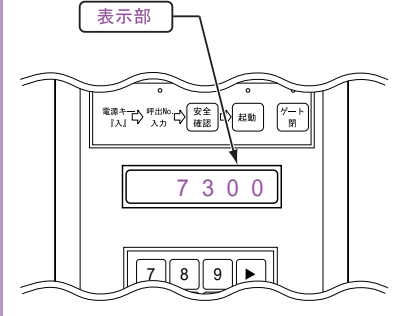
1. 安全を確認します。
2. “非常停止” ボタンを右にまわします。
3. “安全確認” ボタンのランプの点滅を確認し、“安全確認” ボタンを押します。
“起動” ボタンのランプが点滅します。
4. “起動” ボタンを押します。
パレットが緊急停止時の中間位置から入出庫位置まで動作します。
(ゲート開状態の場合は、“ゲート閉” ボタンのランプの点滅を確認し、“ゲート閉” ボタンを押します。)

4 こんなときには？！

⚠ 注意

- 操作盤の『表示部』に「7100」、「7200」、「7300」、「7400」以外の数字が表示され、ブザーが鳴っている場合には直ちに使用を止め、管理者もしくは弊社指定のメンテナンス会社にご連絡ください。
- また「7100」～「7400」発生時に下記対策を行って改善されない場合も管理者もしくは弊社指定のメンテナンス会社にご連絡ください。

症状	原因	対策
<p>『表示部』に「7100」または「7400」が表示され、ブザーが鳴っている。</p>  <p>The diagram shows two views of the control panel. The top view shows the display area with '7100' and the bottom view shows '7400'. The display area is labeled '表示部' (Display). The control panel includes buttons for '電源キリ' (Power Off), '呼出し' (Call), '安全確認' (Safety Check), '起動' (Start), and 'ゲート閉' (Gate Close). Below the display are buttons for '7', '8', '9', and a right arrow.</p>	<p>装置動作中もしくは起動時に車長制限センサーの光軸をさえぎった。</p> <p>(補足事項) 7100: 前列車長 7400: 後列車長</p>	<p>センサーの光軸をさえぎった物を取り除き、『安全確認』ボタンを押すと異常表示がクリアされます。『起動』ボタンを押すと動作が継続されます。</p>
<p>操作中『起動』ボタンの点滅時に「7100」または「7400」を表示している。</p>	<p>パレット呼び出し中、何らかの理由で緊急停止した際に、車長制限センサーの光軸をパレットなどがさえぎっている。</p>	<p>車長制限センサーの光軸をさえぎっている要因を確認し、仮に光軸をさえぎっているのが、パレットだけの場合は問題ないので「起動」ボタンを押して操作を継続してください。</p>

症状	原因	対策
<p>『表示部』に「7200」が表示され、ブザーが鳴っている。</p> 	<p>装置動作中に進入防止センサーの光軸をさえぎった。</p>	<p>進入防止センサーの光軸をさえぎった物を取り除き、『安全確認』ボタンを押すと異常表示がクリアされます。『起動』ボタンを押すと動作が継続されます。</p>
<p>『表示部』に「7300」が表示され、ブザーが鳴っている。</p> 	<p>操作盤の『非常停止』ボタンが押された。</p>	<p>周囲の安全を確認し、『非常停止』ボタンを右にまわします。『安全確認』ボタンを押すと異常表示がクリアされます。『起動』ボタンを押すと動作が継続されます。</p>

5 メンテナンス

定期的な保守点検は、弊社と保守契約していただきます。
保守契約締結以降の保守点検は、弊社指定のメンテナンス会社が責任をもって実施いたします。

5-1 日常点検

⚠ 注意

- 装置および付属品の改造は絶対にしないでください。
事故・故障の原因になり大変危険です。

注意ラベルについて

- ・ 注意ラベルが剥がれたり、破れたりしている場合は、保守管理者に連絡して貼り替えてください。
また、注意ラベルが汚れている場合は速やかに汚れを取り除いてください。

パレットについて

- ・ パレットナンバーが剥がれたり、破れたりしている場合も、保守管理者に連絡して貼り替えてください。
また、パレットナンバーが汚れている場合には速やかに汚れを取り除いてください。
- ・ パレット上にゴミや異物がある場合は速やかに取り除いてください。

操作盤について

- ・ 操作盤に鍵の抜き忘れがある場合は速やかに抜き取って管理者へ渡してください。
- ・ 操作盤の扉が開いている場合は閉めてください。

5-2 長期間使用しない場合

- ・ 3ヶ月以上使用しなかった場合は、使用前に必ず弊社指定のメンテナンス会社に依頼して装置の点検を行ってください。

お願い

長期間使用しない場合は、機械部分の機能に支障をきたす場合がありますので、週一回程度、全パレットを動作させてください。

5-3 部品交換や修理が必要な場合

部品が必要なときや修理が必要な場合は、保守管理者・弊社指定のメンテナンス会社・販売代理店のいずれかに問い合わせてください。
お問合せ先については、次ページをご覧ください。

保証について

万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。
ただし、保証期間内であっても下記の各項に該当する場合は、当社は一切その責任を負いません。

- (1) 取扱説明書および表示銘板以外の取扱いおよび仕様限度を超えた使用の場合。
- (2) 当社の了解なく製品の改造または変更を加え、これが原因で故障した場合。
- (3) 当社または当社指定の保守会社以外で実施した保守または修理が原因で故障した場合。
- (4) 日常の保守点検および定期点検を実施せず、これが原因で故障した場合。
- (5) ご使用上の過失やいたずら行為による損傷、またはこれが原因で故障した場合。
- (6) 当社の純正品または指定した以外の部品・油脂を使用し、これが原因で故障した場合。
- (7) 天災地変（地震、台風、水害、火災、落雷、雪害、酷暑など）の場合。
- (8) 塩害、薬害、酸性雨、煤煙、降灰、鳥糞、高電圧などの外的要因で故障した場合。
- (9) 使用損耗または経年変化（メッキおよび塗装の自然退色、劣化、発錆など）
- (10) ピット内部の排水不良などによる浸水が原因で装置および車が故障、破損した場合。

また、次に示す各項の費用は負担いたしません。

- (1) 消耗品および定期交換部品
- (2) 駐車装置が使用できなかったことによる二次的補償（電話代、交通費、代替駐車場利用料、休業補償、商業損失など）

ホクコ株式会社 豊国パーキングシステム

1000年先も地球でいたい。

本社	広島県東広島市西条町御園宇 6400-4	〒 739-0024	TEL(082)493-7022
東京支店	東京都墨田区江東橋 2 丁目 2 番 3 号 (倉持ビルディング第 2 2F)	〒 130-0022	TEL(03)5625-1068

豊国グループホームページアドレス <http://www.hokoku-kogyo.co.jp>

メンテナンス

販売代理店